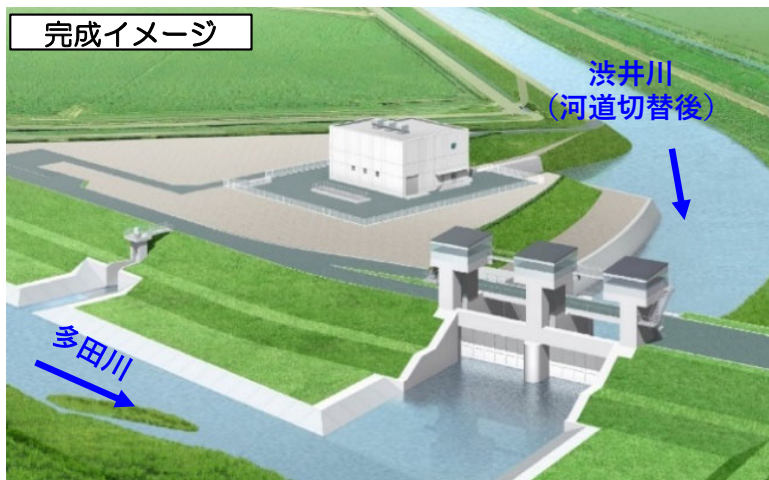


渋井川水門・排水機場整備事業 事業の進捗状況について



11月1日（土）に実施した事業進捗報告会の内容を地域住民のみなさまへお伝えします。



〇事業概要

鳴瀬川水系渋井川は、鳴瀬川本川の背水の影響を受けやすく、平成27年関東・東北豪雨や令和元年東日本台風では、渋井川堤防が決壊するなど、甚大な被害が発生しています。

再度災害防止を図るため、被災箇所の災害復旧を進めるとともに、渋井川と多田川の合流部においては、背水による逆流（バックウォーター現象）を防止するため、令和元年度から水門整備に着手し、令和4年度からは排水機場の整備を進めているところです。

<水門>

事業概要：水門本体(W=43.0m,H=20.5m)
プレートガーダ構造ローゲート N=2門
事業費：28億円
事業期間：令和元年度～令和7年度

<排水機場>

事業概要：ポンプ形式 立軸斜流ポンプ (2.0m³/s×3台)
樋門形式 柔構造樋門(1.7m×1.7m)
事業費：40億円
事業期間：令和4年度～令和7年度(令和8年度に変更)

工事の進捗状況について

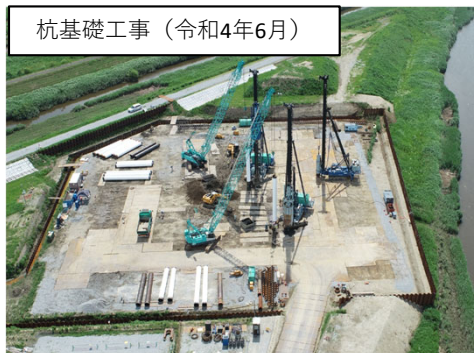
<水門>

令和6年度までに水門本体が完成し、その後進めてきた河道の切替が完了したことから、9月より水門の供用を開始しています。

工事着手前（令和2年8月）



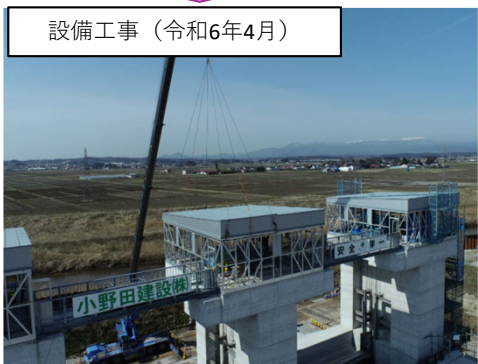
杭基礎工事（令和4年6月）



本体工事（令和5年7月）



設備工事（令和6年4月）



護岸工事（令和7年6月）



水門供用（現在）（令和7年11月）



